

< 地場産農産物の加工・販売を実施している事例 >

次の世代へ渡すために

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	高知県高知市鏡梅ノ木 <small>かがみうめのき</small>			
協定面積 19.5ha	田 (58.6%)	畑	草地	採草放牧地
	米、生姜など	野菜、山菜など	-	-
交付金額 300万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	役員報酬		6%
		共同活動取組費 (道水路・農地管理費)		10%
		共同機械購入費		24%
		その他		3%
積立・繰越金		7%		
協定参加者	農業者 28人			

2. 取組に至る経緯

鏡梅ノ木集落では、平成10年より将来の高齢化や耕作放棄地対策として山菜を植栽し、山菜狩イベントの実施に取り組んできた経過がある。本制度導入にあたっては、多面的機能を増進する活動として都市と農村交流活動を活動項目にあげている。

当集落は急峻な山間部においては比較的農地がまとまっているが、農産物の価格低迷等による後継者不足や高齢化による労働力不足により、個々での農業生産活動や農地の維持が困難な状況になりつつあるが、山菜・梅・四方竹などの加工・販売を通して、集落の活性化を図り、農業所得の向上を図るため集落協定を締結した。

3. 取組の内容

鏡梅ノ木集落協定では、農道・水路の管理、鳥獣被害対策を共同で行っており、山菜等の地場産農産物の加工販売にも力を入れている。また、共同取組活動費を活用し、土地を購入し、共同倉庫を設置。精米機・粳すり機・動力噴霧器を購入。地区の主要品目である水稻については機械・農作業の共同化を積極的に進めている。また、製粉機を購入し、米粉の加工にも取り組んでいる。さらに、米に付加価値を付けるため、協定参加農家1戸が平成21年1月に濁酒醸造免許を取得、集落としても技術講習会に参加、共同取組活動費で蒸留器を購入するなど加工にも力を入れ、集落をあげて取り組んでいる。特徴的な活動としては、耕作放棄地で山菜栽培を行っており、春には山菜狩りを行い、平成16年からは、年間を通してピザ釜を使った山菜ピザ焼き体験を実施するなど、都市住民との交流活動を活発に行っており好評を博している。



山菜ピザ焼き体験



共同機械を購入し、倉庫を設置

[集落の将来像]

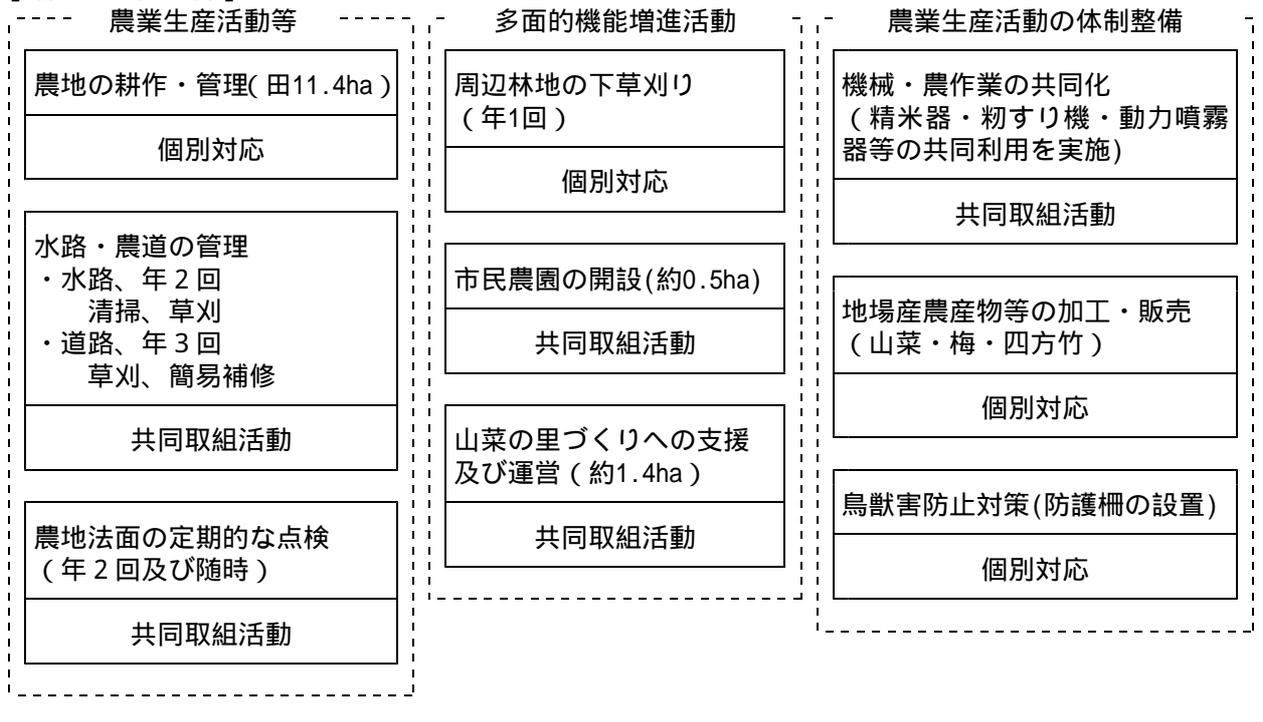
農用地・農道・水路等については、必要に応じて修繕・管理等を行い、共同機械の購入により、農作業の効率化を図り、将来も農業生産活動が持続できるように取り組む。
 鳥獣被害対策が必要な箇所については、猪捕獲檻の設置及び防護柵の設置等の被害防除対策を行い、農業生産活動が円滑に行えるように取り組む。
 山菜・梅・四方竹などの加工・販売を行うとともに、山菜狩やピザ焼体験の都市住民との交流事業に対して支援を行い、交流事業が円滑に進められるように支援を行っていく。



[将来像を実現するための活動目標]

猪対策を主とした檻・防護柵等を設置し、被害を減少させる。山菜狩の運営により、都市住民との交流を深め、直販店・市場・曜日において、山菜等地場産農産物の加工・販売を行っていく。

[活 動 内 容]



4. 取組による変化と今後の課題等

集落協定の中で今後の地域農業をどのように守るかを課題として、地域の中核的な農家から若手農業者まで地域の各年代層の農業者が集落協定の役員となり、有利作物の研究や先進地視察活動等を行い、今後の高齢化による労力不足や農作業の共同化による作業の効率化、所得安定について検討している。

また、地域の主要品目である水稻を中心に今後共同機械の導入を計画するなど地域の専業農家や兼業農家でも役割を持つことによる新たな仕組みについて検討している。

[平成20年度までの主な成果]

- 猪捕獲檻の設置、防護柵の設置
- 都市住民との交流による地域の活性化
 - ・山菜狩・ピザ焼体験参加者の増(280名(H17), 250名(H18), 320名(H19), 380名(H20))
 - ・ピザ焼体験施設への電気架設の実施